



校訓

自治 勤勉 快活

教育方針

- 【自治】道義と秩序を重んじ、自己に責任をもつ、自主・自律生活の実践を図る
- 【勤勉】学問尊重と真理を求める気風の育成を図る
- 【快活】自他の敬愛と協力による豊かで快活な生活態度の樹立を図る

茨城県立鹿島高等学校附属中学校 グランドデザイン 2026

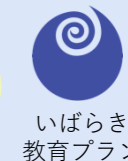
育てたい生徒像

思考力・判断力・表現力を身に付け、
主体的に課題発見・解決に取り組む生徒

国際感覚を身に付け、**グローバル化が進展する社会で活躍することのできる**生徒

「自治・勤勉・快活」の校訓にもとづき、
地域や国際社会のリーダーとなることのできる生徒

一人一人が輝く
教育立県を目指して
～子どもたちの自主性・
自立性を育もう～



目指す学校像

生徒たちが時代の大きな変化をチャンスと捉え
予測困難な未来に対応する考え方と力を身に付けていく学校

(その結果)
**自律した生徒たちによる多彩な個性と自由な発
想に満ちた活力ある学校の実現**

特色ある5つの学びの構想

進路指導・ キャリア教育	国際教育・科学教育	個に応じた 学習指導	安心・安全な 学級づくり	学校行事等による 豊かな人間性の向上
KASHIMAインターンシップ (地域密着型職場体験学習)	校外学習での英語研修 知的好奇心を高める特別理科授業	中高6年間をつなぐ先取り学習 少人数指導等によるきめ細やかな指導	異学年交流や学級活動による 生徒同士の絆づくり	県立中高一貫教育校の合同行事・ 中高合同の学校行事の実施
<ul style="list-style-type: none"> 地域人材を活用し、本人の希望に合わせた地域密着型の職場体験学習の実施 (例:鹿島アントラーズに学ぶ地域創生、鹿島宇宙技術センター等での研究者体験、鹿島神宮の歴史学習、近隣病院での看護体験等) 中学校段階での大学見学など、高等学校と連携したキャリア教育の推進 教育関係者と語る「未来の自分発見講座」をとおして将来の自分の姿へつながる自己イメージを獲得 	<p>【国際教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の授業時間数の増加と、外国人講師とのオンライン英会話による英語4技能(話す、聞く、読む、書く)の向上 国内研修施設での校外学習、修学旅行等を通じた英語実践力の育成 <p>【科学教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の研究機関における特別理科授業や、科学施設への校外学習の実施 実験重視の理科授業を通して、科学的な思考力・判断力・表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 高校の内容の先取り学習をとおして、体系的な学習を行い、深い学びを実現 標準授業時数より年間105時間多い授業で学習時間を確保し、基礎的・基本的内容の定着 少人数指導や、TT(チーム・ティーチング)による、きめ細やかな指導 「地域探究活動」でのICT機器の活用によるプレゼンテーション能力、論理的思考力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習等による学級の絆づくりの推進 複数担任制による一人ひとりの生徒理解と、心に寄り添った生徒指導の充実 生徒会主催の異学年交流での構成的グループエンカウンターの導入による人間関係づくりの醸成 スクールカウンセラーとの全員面談や、教員による定期的な教育相談の実施 「附属中スタンダード」による、分かりやすい生活ルールで、安心した中学校生活を実現 	<ul style="list-style-type: none"> 県内県立中学校との交流や合同行事をとおして共に高め合う意識の向上 (イングリッシュスタディ、探究意見交換会、探究活動発表会等) 人工芝多目的グラウンドや体育館などの共用施設を用いた中高合同の学校行事を通じた健やかな体と豊かな心の育成 ※文化祭、体育祭等 中学生と高校生が連携して生徒会活動を行うことによる自主性豊かな学校づくりの実践

2020年度開校

6年間を見通した
教育支援

鹿島高等学校
附属中学校

【合計定員840人(高校720人・附属中学校120人)】

- ・長期的な視点に基づいた6年間の学び(中学校)
- ・中高合同の取組(部活動、文化祭、体育祭、等)
- ・内進生と高入生との切磋琢磨(高校)

創立116年目

鹿島高等学校

医療・理工 国際
多様なニーズに対応
理数 人文



- ・国際教育、科学教育、キャリア教育の充実
- ・授業時間数増による、ゆとりのある授業
- ・習熟度別学習やTTによる楽しく、分かる授業
- ・オリエンテーション合宿などを通じた絆づくり



- ・一人一人の進路ニーズに合わせた教育課程
- ・教師の専門性を活かした授業スタイル
- ・内進生と高入生とによる切磋琢磨
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実

